

平成 29 年度教員免許更新講習実践報告
－専門科目バレーボール－

The teacher's license update lecture practice report in 2017
－The special subject volleyball－

佐藤 亮輔 杉山 仁志 飯田 周平*
Ryosuke Sato, Hitoshi Sugiyama, Shuhei Iida
*国士舘大学

Abstract

A teacher's license update system was introduced from 2009 April 1st by the formation of the revision teacher's license law in June, 2007.

There was request from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and the Saitama Prefecture school board, too, in the science and it implemented a teacher's license update lecture with eighth time in this year.

In the this report, it implements a questionnaire survey for the volleyball which was implemented as the special subject from the inside at the update lecture which was set about this year (2017) science.

It had a purpose of getting a necessary data from the result in the future of implementing a lecture when. In the future, it thinks that the things such as "making an attendance object clear" become necessary with the step of whether or not "to examine contents" or the participant recruitment.

キーワード：教員免許、更新講習、バレーボール

Key words : Teacher's license, update lecture, volleyball

I はじめに

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制度が導入された。

教員免許更新講習は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊厳と信頼を得ることを目的としている。

基本的な制度設計は、終了確認期限前の 2 年間に大学などが開設する 30 時間の免許状更新講習を受講・修了した後、免許管理者に申請して終了確認を受けることが必要となる。

更新講習の受講対象者は、現職教員・教員採用内定者・臨時任用（または非常勤）教員リストに登録されている者・過去に教員として勤務した経験のある者などである。

更新講習を開設できるのは、大学・指定教員養成

機関・都道府県教育委員会などであり、担当することが出来る講師は、大学の教授・准教授・講師または、教育委員会の指導主事などである。

更新講習の内容は、教育の最新事項に関する事項（12 時間以上）と教科指導、生徒指導、その他の教育の充実に関する事項（18 時間以上）であり、受講者の専門や課題意識に応じて、開設する講習の中から選択することとなっている。¹⁾

武蔵丘短期大学（以下「本学」とする）では、文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度で 8 回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度（平成 29 年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。

その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

Ⅱ 調査方法

1. 調査対象

本学で開催した教員免許更新講習の中から、専門科目として設定したバレーボールを受講した23名。

2. 調査方法

更新講習終了後、受講生にアンケート用紙を配布した。

記入にあたっては、時間制限をせずに実施した。

講習内容4時限のうち、4時限目の試験を除いた3時限分について、それぞれの時間毎に記入できるようアンケート用紙を作成した。

また、各項目に自由記述の欄を設け、受講生の自由な意見を引き出せるよう配慮した。

回答数は、受講生23名のうち23名(有効回答数100%)であった。

Ⅲ 結果

1. 受講理由

本学で教員免許更新講習を受講した理由を下記の5項目で質問した。なお、複数回答を可とした。

- ①自宅から近いため
- ②受講科目に関心があったため
- ③現在の教育(指導)に役立つ内容だったため
- ④本学の教員と面識があったため
- ⑤その他(自由記述)

結果、①8名②11名③2名④10名⑤4名であった(図1)。

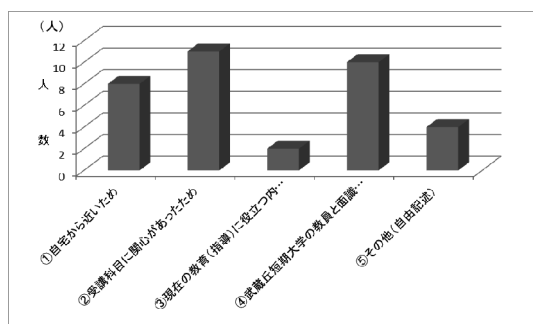


図1 受講理由

なお、⑤その他での記述には、以下のような内容が挙げられた。

- ・今までに講習を受講された先生方から受講内容の評判を聞いて。

- ・職場の同僚の紹介。
- ・川合先生にお会いしたかったから。

2. 講習内容

講習内容をそれぞれの時限毎に下記の5項目で質問した。なお、項目選択の理由を自由記述とした。

1) 1限目(講義)

主な内容：実技の説明及び指導方法

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他(自由記述)

結果、①11名②11名③1名④0名⑤0名であった(図2)。

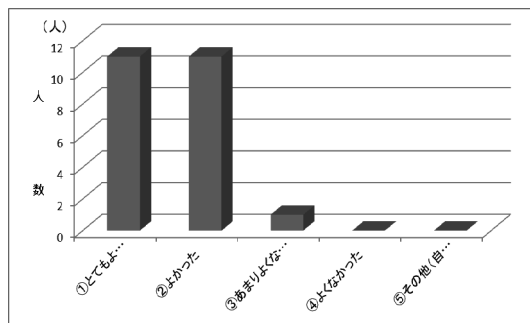


図2 講習内容(1時限講義)

①を選択した理由としては、「授業を想定した内容で理解しやすかった」、「生徒に還元できそうな内容が多かった」、「私にとっては専門科目ではありませんでしたが、理解しやすくとても丁寧に説明していただきました。また、他競技におきましても通用する理論であると感じました」の3項目が最も多くそれぞれ2名ずつであった。次いで「バレーボールの基本技術、オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、スパイク、3段攻撃といった内容を資料をもとにきめ細かい指導であった」、「工夫次第でいろいろなドリルを開発していけるのだと思います。大いに活かしていきます」、「バドミントンコートの資料は小学生でも取り入れられそう」「川合学長のお話を聞くことができなかつたのは残念」などであった。

②を選択した理由では、「実技において実際の授業の現場で使えるような指導案の資料があり、理解しやすかった」、「基礎的な練習方法の確認ができ

た」、「実技の説明を事前に聞いたことで見通しが持てた」などであった。

③を選択した理由では、「もう少し細かい説明があってもよかったと思う」であった。

2) 2 限目 (実習・実技)

主な内容：レシーブ、トス、スパイク (3 段攻撃) における練習方法

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他 (自由記述)

結果、①19 名②3 名③31 名④0 名⑤0 名であった (図 3)。

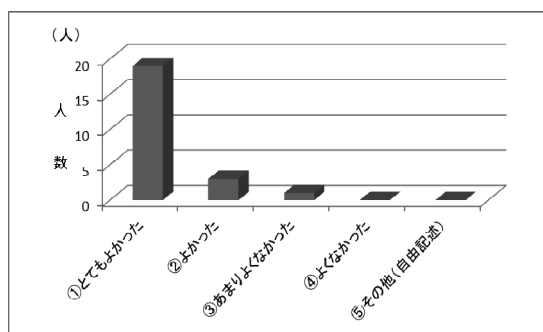


図 3 講習内容 (2 時限実習実技)

①を選択した理由としては、「学生が実際に動きを見せてくれて一緒に楽しくできた」が最も多く 11 名であった。次いで「基本的な技術練習方法を確認することができ、現場での授業に活用できるものであった」が 3 名。他には「学生のサポートにより、安全かつ理論的な学習となった」、「私のやったことのない練習方法もあったので参考になりました」、「バレーボールの楽しさを再確認できた」などであった。

②を選択した理由では、「学生が実際に動きを見せてくれて一緒に楽しくできた」が最も多く 2 名であった。次いで「ネットを使わずに 3 段攻撃の練習、とても参考になりました」が 1 名であった。

③を選択した理由は無回答であった。

3) 3 限目 (講義)

主な内容：スパイクスイングにおける理論

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他 (自由記述)

結果、①22 名②21 名③0 名④0 名⑤0 名であった (図 4)。

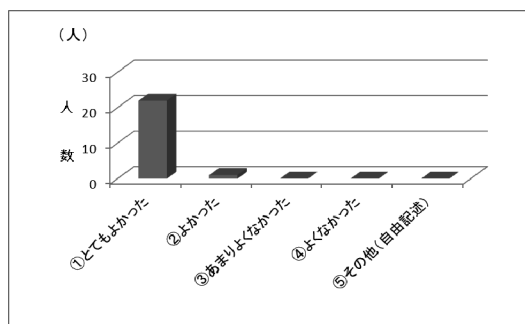


図 4 講習内容 (3 時限講義)

①を選択した理由としては、「多くの詳しい理論を学ぶことができた」が最も多く 8 名であった。次いで「今後の指導に活かせるものであった」が 7 名。「技能構造が分かりやすかった」が 4 名。「再確認することができた」が 1 名。無回答が 1 名であった。

②を選択した理由では、「興味深かった」が 1 名であった。

3. 講習内容

今回の教員免許更新講習 (専門科目バレーボール) を受講して、全体的にどのような感想を持ったかを自由回答で質問した。回答の内容は以下のとおりであった。

- ・大変お世話になりました。大会翌日のお疲れのところ、誠に親切にあたたかく迎えていただき感謝を申し上げます。
- ・体力について、トレーニングについて、個人技能、集団技能についてより一層理論的なアプローチを深め、それをもとに子どもたちの指導に生かしていかなければならないと強く思いました。大変有意義な時間を過ごさせていただきました。どうもありがとうございました。
- ・今回、短大のバレー部員の方がいたので、経験者

(専門の方)以外の先生がやりやすい環境だと思いました。

- ・私が想像していたよりも充実した講習を受けることが出来ました。学生の方々の協力もあり、普段学校での授業以上に楽しくバレーボールを実践できました。教える側から教えられる側に立つことが久々でしたので新鮮に感じました。今回のように、自分の職場でも生徒に対して楽しく上達できるように指導していきたいと強く考えるようになりました。体が動くうちに生徒とともに技術向上が出来たら良いと思います。
- ・細かい練習法や指導法を丁寧に教えていただいたので、生徒たちに教える際に生かせる内容であった。学生が中に入って良いプレーを見ながらだったのでとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・大会終了直後の忙しい時期に貴重な講義をありがとうございました。最終日の疲労度に合わせた授業展開、感謝いたします。
- ・実技は大変楽しく体を動かし、気持ちの良い汗をかくことができた。学生の方と一緒にできたので、練習やゲームがスムーズにできたので良かった。10年後にまたバレーボールを受講したいと思う。
- ・実技の時間がもう少しあるといいと感じました。学生も一緒にできたのがよかった。
- ・実技での乱打ですが、実戦的に学生と対決するのも面白いかなと思いました。

IV 考察

アンケートから、質問項目1の本学で受講した理由では、「受講科目に関心があったため」が最も多い結果であった。多くの教員が専門で行ってきた内容以外の担当となり、指導にあたっての知識、技能を高めたいと考えていることが推察される。次に多かった「本学教員と面識があったため」については、その他を選択した回答の記述において、同僚の紹介が数名あった。つまり、直接的でなくとも本学の教員が、中学・高校の教員と何らかの関わりがあることが講習先に本学を選択した要因となったことが考えられる。次の「自宅から近いため」については、中学・高校の教員が夏休み中であっても激務であり、遠方まで研修に行く時間がないため、自分の母校より自宅に近い本学を選んだことが推察される。

質問項目2の1)講義(1限目、実技の説明及び指導方法)では、「とてもよかった」と「よかった」が同数であった。項目選択の理由から、講義内容が受講者にとって有益であったことが読み取れる。また、バレーボールを専門としていない指導者からも同様の意見であったことから、指導者として参考になる内容であったと思われる。

質問項目2の2)実習実技(レシーブ、トス、スパイク(3段攻撃))では、「学生が実際に動きを見せてくれて一緒に楽しくできた」といった意見がもっとも多かった。これは、本学学生をデモンストレーターとして、受講者に目で見分けるようにしたことが評価につながったと思われる。また、「学生のサポートにより、安全かつ理論的な学習となった」との意見もあり、本学学生と対象者が一緒に行うことにより、安全面でも対象者の支えになったと考えられる。次に多かった「基本的な技術練習方法を確認することができ、現場での授業に活用できるものであった」に関しては、今回受講した先生方が普段の授業でいかに困っていたかが伺えることができ、実習実技を取り入れたことが評価につながったと思われる。③あまりよくなかったの理由は未記入であった。

質問項目2の3)講義(スパイクスイングにおける理論)では、①とてもよかった②よかったのみの意見であった。これは、専門科目としてバレーボールを設定したこともあり、専門的な指導を行う上で必要な知識として、スパイクスイングに焦点を絞って行ったことが上記の結果となったのだと考えられる。また、学生時代は専門的に研究等を行うことができるが、教員として現場の仕事に就いたことでその時間を作れない人も多いと思われる。今回の講習がきっかけとなり、その必要性を感じてもらえれば、講習を行った意義があったと考える。

質問項目3(講習全体)では、自由記述とし、多くの意見が寄せられた。受講生それぞれの視点によって言い方は違うが、大半は受講内容が良かったという内容であった。今後も大半は良かったと言ってもらえるように、本学において教員免許更新講習を実施していくにあたり、様々な意見に対処していくことも今後の検討課題である。

V まとめ

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制が導入された。

本学では文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度で 8 回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度（平成 29 年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

受講内容では、「とてもよかった」、「よかった」が多く意見であった。また、今年度の講習では 3 年前の講習に比べ、「初心者や出来ない生徒への指導もしてほしかった」などの要望がなかった。今後、本学で教員免許更新講習を行っていくうえで、「講習内容の検討を行う」か、あるいは受講者募集の段階で「受講対象者を明確にする」といったことが必要になると考えられる。

また、「講習内容の検討」を行ううえにおいても、専門科目においては、「専門性を強調し、高度の内容を実施していく」のか、「現場の授業での初心者向けの内容を中心とする」のかを考える必要がある。その「現場の授業での初心者向けの内容」の講習を行うにしても、「中学校」が対象なのか「高等学校」が対象なのか、「男子」が対象なのか「女子」が対象なのかといったことも検討していく必要があると考えられる。

そして、本報告を含めてアンケート調査を過去 7 回実施しており、来年度も実施を予定し、各年度における比較・検討及び、追跡調査も必要と考える。

本報告では、以上の点を検討する必要性を示唆する資料となった。

【参考文献】

- 1) 文部科学省ホームページ：教員免許更新講習